

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十八年十一月度 入選句（投稿総数三千四百二十一句・一般投句数八百二十二句）

特選

竹林のざわめき 軽し 冬 隣

大垣市

高木 佐知子

秋には樹々も夏疲れしたかに色も艶も無くなり衰えがみえる。竹は五月頃より今年竹としてぐんぐん伸び夏が過ぎる頃には緑の美しい葉となる。冬隣といふのに風音も軽く聞える。見逃しそうな瞬間を捉えた美しい爽やかな句です。

バスケット部の悲願の県に挑む 秋

大垣市

土本 裕之

若々しく力みなぎる句ですね。私共は自然詠を主体にしていますが、最近高校生の俳句甲子園とがに触れる度、若い頃が蘇って来ます。これからもどんどん俳句を詠って下さい。

新秋の尚更澄みて 井の地底

大垣市

樋口 絹子

さわやかな句です。秋の空はどこまでも澄んで美しい色となり、ふわりと浮んだ綿のような雲に心和みます。「尚更澄む」と中七に心引かれます。釣瓶井戸の底の水とあり覗きたくなります。人の詠わない所を見つけることが大切です。佳句ですね。

秀逸

ゴンドラのガクンと上る霧の中

福井県敦賀市

山田 美千代

ふたたびは訪へぬ城址やこぼれ萩

東京都世田谷区

関戸 信治

落葉掃く音や 船町川 灯台

奈良県橿原市

吉岡 美好

里いもを解す妻あり 畑日和

大垣市

今津 絹代

ざつくりと山削られて 冬うらら

不破郡垂井町

中嶋 笑子

今朝秋を思ふ シーツの白さかな

大垣市

日比野 友子

馬肥ゆる 湖東三山横にみて

大垣市

岩田 唯志

うれしさもリュックに 背負ひ秋の朝

海津市

横井 美圭

古里の 香り 掬へり 今年米

安八郡神戸町

高橋 泰

産土に 袴ずらし 七五三

大垣市

野村 多佳子

入選

草風分けて境の杭を打つ
もやい船屋根の上にはもみじかげ
おはようとあげる手のなか猫じやらし
風にゆれやけに目をひく破芭蕉
つくり滝秋風にのり鳴り響く
校庭の歓声浴びし梅雨晴間
句碑の辺の十月桜空に消ゆ
水底に落葉の影も流れけり
地藏佛視線のさきの捨子花
伊吹嶺雲散り去りて稻架日和

大垣市	小林 研
岐阜市	郷 裕輝
大垣市	渡邊 翔太郎
不破郡垂井町	山内 茉莉奈
岐阜市	舟橋 和恵
大垣市	高畑 正良
埼玉県所沢市	荒幡 千鶴子
東京都東村山市	大原 芳村
愛知県春日井市	稲垣 蝸歩
大垣市	平野 きぬよ

入選

照されて石は装う月の庭
膝頭ずらりと並ぶ菊月夜
夕雁を雲の扉に見失ふ
枯蠟螂小首かしげて動かざる
秋霖にぬれてほほ笑む石ぼとけ
いわし雲海なき美濃に湧きつづく
秋深む早ばや灯る塾の窓
いつよりか陽は膝にあり石露の花
街路樹の枯葉必死にしがみつ
背伸びして園児のつける赤い羽根

京都府京都市	石田 一美
養老郡養老町	田中 秀子
養老郡養老町	田中 紫香
大垣市	坪井 克枝
不破郡垂井町	川瀬 慶泉
不破郡垂井町	清水 るり
安八郡神戸町	高橋 日出美
大垣市	中山 あや子
愛知県稲沢市	後藤 陽子
大垣市	澤井 国造

選者吟

波の音聞きつつ末枯れゆく湖畔

美代子